

学校教育目標	自らを律し、自ら行動する人間の育成 ～ 自律と自立 ～	経営理念	「育ち直し」「学び直し」の理念のもと、児童生徒の自律・自立を支援する。 ～ この学校で学んでよかったと思える学校づくり ～
--------	--------------------------------	------	--

評価計画						自己評価				学校関係者評価		改善方策		
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							7月	12月						
学習指導	1	確かな学力の定着	共感的な人間関係と自己存在感を基盤とした、「個別最適な学び」の充実を図る。	・自立支援計画に基づき、実態に応じた個別最適な学びを推進する。 ・UDを取り入れた授業(焦点化・視覚化・共有化・振り返りの工夫・ICTの活用)を徹底する。	・児童生徒の意識調査「自分に合った教え方、教材、考える時間などになっている」の肯定的評価の割合 ・教員の意識調査「個別最適な学びの充実に向けて取り組んでいる」の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上								
			自己決定の場を核とし、自主的・主体的な学習態度を育成する。	・単元計画の中に、自己決定の場面を設定する。 ・学園と学校が協働し、「学びの連続性」を念頭に置いた係会を行う。	・児童生徒の意識調査「授業の中で、自分で考え、判断しています」の肯定的評価の割合 ・児童生徒の意識調査「様々な行事において、どのようにしたらうまくいか、自分で考えて行動した」の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上								
	2	社会に通用する生徒の育成	生徒理解を基盤とし、自己決定を促す生徒指導を充実する。	・合意形成に基づく生徒指導と、体験活動を通じた意思決定の場づくりをする。 ・学園との連携による人間関係づくりと、道徳・キャリア教育を通して、生き方を考えさせる。	・児童生徒の意識調査「もみじ小・中の先生は自分のことを分かってくれる」の肯定的評価の割合 ・児童生徒の意識調査「東広島スタンダード」を自ら進んで行っている」の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上								
			自己存在感を育む部活動を充実する。	・教職員が必ず部活動に付き、児童生徒理解に努める。 ・学園と情報共有し、一貫したポジティブ・フィードバックを行う。	・平日の部活動への複数の教員参加率 ・児童生徒の意識調査「部活動では達成感があった」の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上								
信頼される学校	3	関係機関から信頼される教育活動の充実	広島学園職員や原籍校から信頼される教育活動を推進する。	・「自立支援計画」を核とし、学園職員との定期的な情報交換(カンファレンス・ケース会議等)を実施する。 ・原籍校連絡協議会において、本校での成長を可視化した資料を提供し、復帰・進路への納得感を高める。	・学園職員の意識調査「学校職員は児童生徒の発達を理解して指導している」の肯定的評価の割合 ・原籍校のアンケート調査の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上								
			効果的な教育活動の充実	・「やめる・減らす・変える」の視点で分掌業務を見直す。 ・教職員の「ウェルビーイング」の向上をめざす。	・勤務時間外の在校時間が月45時間・年間360時間未満の割合 ・教職員アンケート「働きやすさと働きがい」の肯定的評価の割合(平均)	100% 90%以上								

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価

- 4...目標を上回って達成
- 3...目標どおりに達成
- 2...目標をやや下回って達成
- 1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価

- A...とても適切である
- B...概ね適切である
- C...あまり適切でない
- D...全く適切でない